会員数（54・1月現在）
逗子地区 123名
葉山地区 213名
大船地区 70名
合計 40 名

# 吟道月報

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 硯心会 発行

54・1月
第78号
発行者
根岸晃岳
編集
中村愛風
秋元梁風

## 年頭のご挨拶

松井岳洋

硯心会吟友の皆さんが、お元気に新春を迎えられ、おめでとうご座います。

皆さんの吟道えのご熱意と、会を愛するご協力により、硯心会も年と共に順調な発展を遂げておりますことは誠にご同慶に耐えません。

特に会の誇りとします事は、このたび、会長根岸先生が、学院最高位の総伝（岳萃）に昇格されましたことで、われ等日頃の念願が叶い、この上ない喜びで、皆さんと共に大いに祝福しようではありませんか

豊かな人生とは、只物質に恵まれて居ることのみでは無い、各々の心が豊かにならなければ、ほんとうの豊かな人生とは言えない。

程明道の秋日偶成に「富貴にして淫せず、貧賤にして楽しむ」とある様に、吾々は吟道を通して、日日聖賢の教えに触れ、これを自己の修養の糧として、「大いなる優れた、立派な人格者に成る」所謂「硯心の心」を育んで行こうではありませんか。

私もこの一月廿日で満七十五才を迎え「日暮れて道遠き」の感はありますが、まだまだ青年の気持を失はないつもりです。

今年も又、心を新たに吟道を初心に立返り、研鑽に努めるつもりです。祖宗範岳風先生のご遺命である「吟道をとして永遠の命あらしむ」を胸に、

お互に人生の価値ある道を進もうではありませんか。

## ごあいさつ

会長　根岸晃岳

あけましてお目出度うございます。会員の皆様がご家族の方共々良い新春を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。昨年碩心会は皆さんのご協力により大きく発展することが出来ましたが反面国内では"円高ドル安"の不安定経済で倒産も史上最高と余り良い年ではなかったようですし、今年も亦インフレの傾向にあるといわれております。しかしこのような時にこそ詩吟によって楽しみ乍ら力強くすごして行きたいものと思っております。碩心会のモットーであります"人の和"を中心に倍旧のご協力とご活躍をお願い致しますと共に、皆さんのご多幸を祈念致しまして新年のご挨拶と致します。　以上

## 新年のご挨拶

相談役　加藤秀岳

新年お目出度うございます。会員の皆さん御家族と共に希望に満ちた新年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

会員皆様の御協力によりまして当碩心会も松井先生並びに根岸会長を軸として三百八十名と言う県本部屈指の会員を擁する会に発展しております。これも会員皆様が吟道のモットーであります心のふれあいによる和のたまものでございます。

私達が皆さんと声高らかに吟じ、詩の内容を勉強する時何か心にうるおいを感じさせられます。詩を吟じる喜び、楽しさ、そして感銘、これが吟道精神につながる一端ではないかと思います。吟を愛好する者に悪人はないとよく言われます。昨年来経済不況の世相を反映して殺伐とした記事が新聞紙上を賑わして

おります，こう云う記事を見る度に、この人達にも吟道精神の一こまでもあったなら、暗いニュースもなくなるのではないかと痛感させられます，

会員の皆様には健康に注意し、本年も和と、協力をモットーとして各自の吟と、人格の向上に精進すると共に、頑心会を昨年以上に発展させる為に努力されん事をお願い致します，そして吟を通じて明るい、楽しい社会作りに少しでも貢献できるよう頑張ろうではありませんか，

# 年頭の言葉

相談役 三井雲岳

明けましてお目出度うございます，皆様一家お揃いでお元気に新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます，頑心会の今年も共々仲のよい和やかな雰囲気の中で吟道に精進したいと念願する次第であります [illegible]

毎年　年の終り年の初めに心静かに吟じ出す崔敏童(サイビンドウ)の詩があります。（四巻の四五頁）

城東荘に宴す

一年又過ぐ一年の春　百歳曽(か)って百歳の人無し

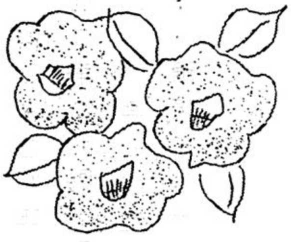
能く花前に向って幾回か酔わん十千、酒を沽うて貧を辞す莫れ

酒ぬきの私のこと貧乏を気にしないで飲みたい時、花の折、月の花に酒は飲むべし位に考えて吟じて居ました

昨今晩酌の折に吟じて居るとおや!!と思いました、この詩の裏には何かがあるのだ，そうだ詩歌がひそんで居るのだ詩を作り或は吟じ或は詩情にひたるこれが伴うから酒も美味いのだ詩のない詩情のない酒なんか飲まん方がいいと思いあたりました。

吾々の周囲には先哲偉人の心打たれる幾多の詩があります，詩には作れないがこれ等先人の詩を朗詠することで詩情を満喫しその雄渾な精神に触れることが出来る何と吟と言うものはいいものだ有難いものだとしみじみ感じます，自分の好きな詩心打たれる詩を五首或

は十首をえらんで暗誦できるまで百回二百回とくり返すことが大切であるし、吟情も湧くし、他の新らしい詩も自ら覚え易くなります。今年も大いに吟声高らかに頑張りましょう。



つばき

あけましておめでとうございます。

今年は好天と暖かさに恵まれたよいお正月で天の恵みに感謝の気持ちでいっぱいです。皆様にとってもどうぞ今年も幸多き一年でありますよう。

さて、この吟道月報も、今年度からなるべくその月の中に皆様のお手許にお届けしたいと思い、原稿〆切日を十日にさせていただきたいと思います。

広報部といたしましても、その様に努力いたしますが、各支部長さんにもぜひ御協力下さいましてなるべくスムーズに配布ができます様お願い致します。

広報部